

第 135 回日本森林学会大会のお知らせ (2023/10/6)

一般社団法人 日本森林学会会長 丹下 健
第 135 回日本森林学会大会運営委員長 佐藤孝吉

第 135 回日本森林学会大会は、東京農業大学（東京都世田谷区）で対面開催します。発表の方法について「4. 研究発表の概要」に、大会参加申込み方法について「7. 大会参加の申込み」記載しました。その他、詳細は決まり次第随時学会ウェブサイト (<https://www.forestry.jp/meeting/>) に掲載します。日本森林学会メールマガジン（月 1 回配信）でもお知らせします。

1. 日 程	午前	午後
2024 年 3 月 8 日（金）	公募セッション, 企画シンポジウムなど	公募セッション, 企画シンポジウムなど
〃 3 月 9 日（土）	開会式 学会各賞授賞式, 受賞者講演	公開シンポジウム
〃 3 月 10 日（日）	研究発表など	研究発表など
〃 3 月 11 日（月）	関連研究集会	

【重要な期日】

- 2023 年 11 月 2 日（木）17:00 研究発表する場合の大会参加申込み及び参加費支払いの締切
- 〃 11 月 2 日（木）17:00 研究発表の申込み, 学生ポスター賞の応募の締切
- 〃 11 月 2 日（木）17:00 高校生ポスター発表の申込みの締切
- 〃 12 月 8 日（金）17:00 関連研究集会の申込み, 大会プログラムへの掲載申込みの締切
- 2024 年 1 月 5 日（金）17:00 講演要旨集原稿の提出締切（研究発表する場合）
（研究発表しない場合（聴講のみ）の大会参加申込み及び参加費支払いは大会当日まで受け付けます）

2. 会 場

東京農業大学 世田谷キャンパス 1 号館 （東京都世田谷区桜丘一丁目 1 番 1 号）
公開シンポジウムは以下の会場で開催し、インターネット配信します。
東京農業大学 100 周年記念講堂（世田谷キャンパス内）

3. 参加・発表資格

【参加資格】

- ・ 会員・非会員を問わず、どなたでも大会に参加できます。
- ・ 事前に、オンラインによる参加登録と参加費の支払いが必要です（7. を参照）。
- ・ 公開シンポジウムのみ参加には、参加登録と参加費は不要です。

【発表資格】

- ・ 部門別発表および公募セッションの発表者（筆頭者）は、本学会会員（2024 年度分の会費を大会までに納入済みの方）に限ります。会員の方は、会費の納入忘れにご注意ください。
- ・ 会員でない方は、研究発表申込みの前に、学会ウェブサイトの「入会案内」から入会の手続きを行ってください。（<https://www.forestry.jp/welcome/#app>）
- ・ 企画シンポジウムでは、非会員の方の研究発表を認める場合があります。その場合でも、発表者自身がオンラインによる参加登録と研究発表申込みを行い、参加費を支払う必要があります（8. を参照）。
- ・ 発表者は筆頭者に限ります。筆頭者以外の著者による代理発表はできません。

- 筆頭者としての発表は、すべての発表形式を通じて1人1件に限ります（ただし学会各賞を受賞された方の受賞者講演は除きます）。

4. 研究発表の概要

- 研究発表は、部門別発表、公募セッション、企画シンポジウムに分けて行います。
- 発表方法には、口頭発表とポスター発表があります。
- 部門別発表は、林政、風致・観光、教育、経営、造林、遺伝・育種、生理、植物生態、立地、防災・水文、利用、動物・昆虫、微生物、特用林産の14部門からなります。部門選択の際には、6.の部門キーワードを参考にしてください。
- 公募セッションは、既存の部門ではカバーできない部門横断的なテーマについて会員の研究交流を継続的に進めることを目的としたセッションです。ポスター発表が併設される公募セッションもあります。発表者は公募のみです。第135回大会で設置される公募セッションは、学会ウェブサイトに掲載しています。
- 企画シンポジウムは、森林学に関する明瞭で簡潔にまとめたテーマをもったシンポジウムです。発表者は公募せずコーディネータが決定します。企画シンポジウムの発表者も研究発表の申込みを行ってください。第135回大会で開催される企画シンポジウムは、学会ウェブサイトに掲載しています。
- 部門別発表、公募セッションのいずれで発表するかは、原則として発表者の希望によりますが、プログラム編成委員会で調整を行う場合があります。
- 研究発表は、森林学に関する研究成果で、講演要旨集の原稿の締切（2024年1月5日（金））までに結果と結論の得られるものとします。

5. 発表方法

1) 口頭発表（部門別・公募セッション）

- 発表時間：15分（発表12分、質疑応答3分）。
- 発表方法：発表者が、会場に設置されたWindows PCに収納された発表資料（パワーポイント／PDFファイル）を操作しながら話す形式とし、その後座長の司会による質疑応答を行います。発表者が自身の端末を使用して発表することはできません。
- 調整討論：数題の発表ごとに、調整・討論の時間を配置する予定です。公募セッションの場合は、コーディネータの希望に応じて、さらに総合討論の時間を設けます。

2) ポスター発表（部門別・公募セッション）

- 発表方法：ポスター会場に設置するパネルにポスターを貼付し、発表者が質疑に適宜応答する形式とします。掲示期間中に質疑応答のためのコアタイムを設定します。
- ポスターのサイズ：A0サイズ、縦（横幅841×縦1189mm）

3) 企画シンポジウム

- 発表時間、発表方法など：最長3時間以内という枠の中で、コーディネータに責任を持って運営していただきます。発表者は、コーディネータの指示に従ってください。

6. 部門キーワード

林政部門 Forest Policy

経済学・社会的アプローチ、森林・林業政策、林業経済、木材産業・流通、森林所有者、林業経営体・事業体、林業労働者、山村社会・経済、環境・資源ガバナンス、自然資源管理政策、文化、林政史・林業史、森林レクリエーション、市民参加・住民参加

economic and sociological approaches, forest and forestry policy, forest economy, forest

products industry and market, forest owners, forestry management entities and forestry enterprises, forestry workers, mountain village society and economy, governance on the environment and resources, natural resource management policy, culture, history of forest policy and forestry, forest recreation, public participation

[委員長：林雅秀（山形大学），委員：三木敦朗（信州大学），芳賀大地（鳥取大学），笹田敬太郎（森林総合研究所），志賀薫（森林総合研究所）]

風致・観光部門 Landscape Management and Tourism

景観，公園緑地，自然公園，庭園，観光，レクリエーション，レジャー，ホスピタリティ，旅行業，保護地域管理，自然資源管理，協働型管理，野生動物管理，世界遺産，伝統文化，民俗，森林療養，心理と行動，里山，設計施工，文化的サービス，林業遺産

landscape, parks and open spaces, nature parks, gardens, tourism, recreation, leisure, hospitality, travel industry, protected area management, natural resource management, collaborative management, human dimensions of wildlife, world heritage, traditional culture, folklore, forest therapy, psychology and behavior, satoyama landscape, design and construction, cultural services, forestry heritage

[委員長：庄子康（北海道大学），委員：奥敬一（富山大学），愛甲哲也（北海道大学），平野悠一郎（森林総合研究所），山本清龍（東京大学）]

教育部門 Education

森林教育，森林環境教育，環境教育，野外教育，専門教育，学校教育，社会教育・施設，林産教育，木育，教材・プログラム，教育評価・効果，指導者養成，カリキュラムマネジメント，研修・安全教育，地域学習，地域連携，サイエンスコミュニケーション，教育倫理，森のようちえん，自然体験活動
forest education, forest environmental education, environmental education, outdoor education, specialized education, school education, social education and facility, forest products education, wood education, teaching materials and program, educational assessment and effect, leadership training, curriculum management, training and safety education, community study, regional partnership, science communication, educational ethics, forest kindergarten, nature experience activity

[委員長：杉浦克明（日本大学），委員：井上真理子（森林総合研究所），東原貴志（上越教育大学），寺下太郎（愛媛大学），山田亮（北海道教育大学）]

経営部門 Forest Management

森林計画，経営評価，機能評価，森林作業法，森林計測，森林調査法，成長モデル，モニタリング，リモートセンシング，森林GIS，ランドスケープ管理，衛星画像，UAV，航空レーザ測量，地上レーザ測量，デジタル写真測量，収穫予測，ゾーニング，森林経営の最適化モデル

forest planning, forest management assessment, forest function evaluation, forest working system, forest mensuration, forest inventory, growth model, monitoring, remote sensing, forest GIS, landscape management, satellite image, UAV, airborne laser scanning, terrestrial laser scanning, digital photogrammetry, yield prediction, forest zoning, optimization model for forest management

[委員長：西園朋広（森林総合研究所），委員：龍原哲（東京大学），小谷英司（森林総合研究所），長島啓子（京都府立大学），福本桂子（森林総合研究所）]

造林部門 Silviculture

森林施業, 成長, 競争, 林分構造, 現存量, 密度管理, 光環境, 種子, 育苗, 植栽, 更新, 萌芽, 保育, 間伐, 伐採, 目標林型, 低コスト造林, 早生樹, 伐期, 混交林, 広葉樹林化, 里山管理
forest management, growth, competition, stand structure, biomass, density control, light environment, seed, nursery practices, planting, regeneration, coppice, tending practices, thinning, cutting, target forest type, low-cost silviculture, fast growing tree, rotation age, mixed forest, leading to broad-leaved forest, satoyama management

[委員長: 酒井武 (森林総合研究所), 委員: 高橋一秋 (長野大学), 太田敬之 (森林総合研究所), 渡邊仁志 (岐阜県森林研究所), 鶴川信 (鹿児島大学)]

遺伝・育種部門 Forest Genetics and Tree Breeding

遺伝構造, 系統地理, 適応の変異, 遺伝的多様性, 遺伝資源保全, ゲノム情報, 遺伝子発現, 連鎖解析, 量の形質遺伝子座, 遺伝子流動, 交雑, 育種計画, 表現型計測, 分子育種, 抵抗性育種, 材質育種, 花粉症対策, 採種園, 着花促進, 種苗増殖, 育苗技術, 組織培養

genetic structure, phylogeography, adaptive variation, genetic diversity, conservation of genetic resource, genomics, gene expression, linkage analysis, quantitative trait locus, gene flow, hybridization, breeding strategy, phenotyping, molecular breeding, breeding for resistance, improvement of wood property, countermeasure for pollinosis, seed orchard, promotion of strobilus, propagation of nursery stocks, nursing technology, tissue culture

[委員長: 石塚航 (北海道立総合研究機構), 委員: 内山憲太郎 (森林総合研究所), 坪村美代子 (森林総合研究所), 齊藤陽子 (東京大学), 花岡創 (静岡大学)]

生理部門 Tree Physiology

樹木生理, 個体生理, 生態生理, 水分生理, 栄養成長, 生殖成長, 物質輸送, 栄養, 環境応答, ストレス耐性, 光合成, 呼吸, 代謝, 細胞小器官, 細胞壁, 植物ホルモン, 組織培養, 形質転換, 遺伝子発現, ゲノム解析, エピゲノム解析, オミクス解析

tree physiology, whole plant physiology, ecophysiology, water relations, vegetative growth, reproductive growth, transport, nutrition, environmental response, stress tolerance, photosynthesis, respiration, metabolism, organelle, cell wall, plant hormones, tissue culture, genetic transformation, gene expression, genomics, epigenomics, omics

[委員長: 則定真利子 (東京大学), 委員: 小島克己 (東京大学), 斎藤秀之 (北海道大学), 田原恒 (森林総合研究所), 津山孝人 (九州大学)]

植物生態部門 Forest Ecology

生物多様性, 生態系サービス, 生態系機能, 生態系管理, ゾーニング, 森林景観, 順応的管理, 森林群集, 生物間相互作用, 攪乱, 植生遷移, 物質循環, 森林動態, 落葉落枝, 樹形, 生活史戦略, 気候変動, 地理分布, 生態モデリング

biological diversity, ecosystem service, ecosystem function, ecosystem management, zoning, forested landscape, adaptive management, forest community, biological interaction, disturbance, plant succession, nutrient cycling, forest dynamics, litter and woody debris, tree architecture, life-history strategy, climate change, geographical distribution, ecological modelling

[委員長: 今博計 (北海道立総合研究機構), 委員: 平山貴美子 (京都府立大学), 松下通也 (森林総合研究所), 野口麻穂子 (森林総合研究所), 速水将人 (北海道立総合研究機構)]

立地部門 Forest Environment

土壤生成, 土壤分類, 土壤理化学性, 土壤分析法, 炭素動態, 窒素動態, 物質循環, 水循環, 土壤生物, 花粉分析, 地位, 森林衰退, 大気降水物, 地球温暖化, 細根動態, 放射性物質, 生物地球化学, 土壤呼吸, 温室効果ガス

pedogenesis, soil classification, soil physical and chemical properties, soil analysis, carbon dynamics, nitrogen dynamics, nutrient cycling, hydrological cycle, soil organisms, pollen analysis, site quality, forest decline, atmospheric deposition, global warming, fine root dynamics, radioactive substance, biogeochemistry, soil respiration, greenhouse gas [委員長: 高木正博(宮崎大学), 委員: 石塚成宏(森林総合研究所), 小野賢二(森林総合研究所), 徳地直子(京都大学), 戸田浩人(東京農工大学), 長倉淳子(森林総合研究所)]

防災・水文部門 Forest Disaster Prevention and Hydrology

土砂災害, 表面侵食, 水循環, 流域, 降雨流出過程, 蒸発散, 樹木の水分生理, 土壤水分, 森林気象, 緑化, 水質, 生物地球化学過程, 同位体, トレーサー, 大気降水物, 地下水, 温室効果ガス, 気候変動, 水資源, 物質循環, モデリング, 気象害

sediment-related disaster, surface erosion, water cycle, catchment, rainfall-runoff process, evapotranspiration, hydraulic trait of trees, soil moisture, forest meteorology, revegetation, water quality, biogeochemical processes, isotope, tracer, atmospheric deposition, groundwater, greenhouse gases, climate change, water resources, material cycle, modelling, climate-induced forest damage

[委員長: 吉藤奈津子(森林総合研究所), 委員: 小田智基(森林総合研究所), 山川陽祐(筑波大学), 久保田多余子(森林総合研究所), 篠原慶規(宮崎大学)]

利用部門 Forest Engineering

森林路網, 林業土木, 木材生産, 林業機械, 林業用ロボット, 作業システム, 環境へのインパクト, 労働科学, 技術者育成, 安全管理, バイオマス利用, 森林情報, サプライチェーン, ロジスティクス, ICT, 再造林技術

forest road network, forest civil engineering, timber production, forest machinery, forestry robot, working system, environmental impact, ergonomics, engineer fostering, safety management, biomass utilization, forest information, supply chain, logistics, information and communication technology, reforestation technology

[委員長: 櫻井倫(宮崎大学), 委員: 鹿島潤(森林総合研究所), 山口浩和(森林総合研究所), 斎藤仁志(岩手大学), 吉岡拓如(東京大学)]

動物・昆虫部門 Forest Insects and Animals

森林昆虫, 樹木害虫, きのこと害虫, マツ材線虫病, ブナ科樹木萎凋病, 森林動物, 野生動物管理, ニホンジカ, ツキノワグマ, 森林性鳥類, 土壤動物, 生物間相互作用, 共生, 生物群集, 食物網, 生態系, 生物多様性, 個体群動態, 密度調節, 種子散布, 外来生物, 系統進化

forest insects, tree pests, mushroom pests, pine wilt disease, Japanese oak wilt, vertebrates in forests, wildlife management, sika deer, Asian black bear, forest birds, soil animals, biological interaction, symbiosis, ecological community, food web, ecosystem, biodiversity, population dynamics, regulation of population density, seed dispersal, invasive species, phylogeny and evolution

[委員長: 梶村恒(名古屋大学), 委員: 中村克典(森林総合研究所), 山崎理正(京都大学), 小池伸介(東京農工大学), 加賀谷悦子(森林総合研究所)]

微生物部門 Forest Microbes

菌類, 細菌類, 菌根菌, 内生菌, 木材腐朽菌, 共生, 寄生, 分解, 養分循環, 根粒, 窒素固定, 微生物群集生態, 微生物集団遺伝, 樹病, 病原, 防除, 抵抗性, マツ材線虫病, ブナ科樹木萎凋病, 線虫, ウィルス

fungi, bacteria, mycorrhizal fungi, endophytes, wood-decay fungi, symbiosis, parasitism, decomposition, nutrient cycling, root nodule, nitrogen fixation, microbial community ecology, microbial population genetics, forest pathology, pathogens, disease control, disease resistance, pine wilt disease, Japanese oak wilt, nematodes, virus

[委員長: 升屋 勇人 (森林総合研究所), 委員: 太田 祐子 (日本大学), 松田 陽介 (三重大学), 小松 雅史 (森林総合研究所), 小長谷 啓介 (森林総合研究所), 竹本 周平 (東京大学)]

特用林産部門 Non-Wood Forest Products

きのこ, マツタケ, シイタケ, エノキタケ, シメジ, たけのこ, わさび, うるし, 樹脂, 山菜, 竹材, トウ, 木炭, 樹実類, 薬用植物

mushrooms, Matsutake, Shiitake, Enokitake, Shimeji, bamboo shoot, wasabi, lacquer, resin, edible wild plants, bamboo, rattan, charcoal, wild fruits, medicinal plants

[微生物部門委員会と同じ (略)]

7. 大会参加の申込み

大会参加の申込みは、会員・非会員を問わず、大会参加・研究発表申込み専用サイトからオンライン登録で行います。電話、Fax、E-mailによる受付は行いません。大会参加・研究発表申込み専用サイトは、学会のウェブサイトにて10月上旬頃に開設します。

<研究発表をする場合> 大会参加の申込みと8.の研究発表の申込みの両方を行ってください。

<研究発表をしない場合 (聴講のみ)>

入場には大会参加申込みと参加費の支払いが必要です。研究発表をしない学部学生の参加費は無料ですが、参加申込み手続きをして下さい。

大会参加費

	一般会員	学生会員	非会員*
早期申込み (2024年1月31日まで)	8,000円	1,500円	8,000円
2月1日以降の申込み	10,000円	3,000円	10,000円

* 発表をしない学部学生の大会参加費は無料です (参加申込み手続きは必要)。

* 2024年2月22日以降の申込みは、クレジットカード決済のみです。

研究発表をする場合 締切: 2023年11月2日 (木) 17:00

研究発表をしない場合 締切: 大会当日

- 参加登録の際、会員の方は会員番号の入力が必要です。
これから入会を予定しており、参加申込みの時点で会員番号をまだお持ちでない方は、専用サイトから登録を行う際に仮番号が自動的に用意されます。ただし、講演要旨集原稿の提出には正式な会員番号の入力が必要です。講演要旨集原稿の提出締切の2024年1月5日までに会員番号が確実にお手元に届くよう、余裕をもって入会手続きを行ってください。
- 大会参加の申込み時に参加費の払込みを行います。
参加費の払込みは、専用サイトから基本的にカード決済でお願いします。郵便振替をご利用の方は、専用サイトで郵便振替選択ボタンをチェックの上、締切までに振替を行ってください。払込取扱票は、必ず参加者1名につき1枚ずつ使用してください。いったん納入された大会参加費は返却いたしません。
- 領収書は専用サイト内から発行可能です。

8. 研究発表の申込み

研究発表の申込みは、大会参加・研究発表申込み専用サイトからオンライン登録で行います。大会参加申込みをただけでは、研究発表の申込みは完了していません。必ず大会参加申込みの後に研究発表申込みを行ってください。専用サイトは10月上旬頃に開設します。

締切：2023年11月2日（木） 17：00

- 研究発表の申込みの受理には、参加費の払込みが事務局で確認されることが必要です。そのため、大会参加費のお支払いは、なるべくカード決済をお願いします。郵便振替によるお支払いは、学会事務局で確認されるまでに4~5日程度かかる場合もあります。余裕をもって手続きを行ってください。参加費の払込みが確認できない場合は、研究発表をキャンセルしたものとして処理いたしますのでご注意ください。
- 研究発表申込みの際に登録した著者名・所属、題名は、2023年11月2日（木）17：00以降は修正ができません。したがって、講演要旨集原稿の提出時にも修正ができません。申込みの際には、共著者（特に学生の方は指導教員の先生等）とよく相談した上でお申込みください。

9. 講演要旨集原稿の提出

講演要旨集の原稿は、学会ウェブサイトの大会参加・研究発表申込み専用サイトからオンラインで入力してください。専用サイトは10月上旬頃に開設します。

締切：2024年1月5日（金）17：00

- 参加費の払込みが事務局で確認された時点で、入稿が可能となります。入会予定の方は、入会手続きの完了も必要です。
- 原稿は、全角500字相当以内で日本語、または英語で入力してください（図表は使用できません）。ギリシャ文字、斜体、下付・上付文字などの入力は、入力画面の説明を参考にしてください（ワープロからコピー&ペーストしても文字飾りは反映されません）。
- 講演要旨集の原稿提出時に、研究発表申込みの際に登録した著者名・所属、題名の変更はできません。
- 大会講演要旨集のPDF版及び発表検索サイトを大会開催の約1カ月前に学会ウェブページに掲載する予定です。会場での大会講演要旨集の配布・販売はしません。大会終了後に、希望者に大会講演要旨集の冊子体を販売します。

10. 学生ポスター賞について

日本森林学会学生ポスター賞は、学生会員の研究の奨励を目的として、日本森林学会大会で優れたポスター発表を行った学生会員に授与されます。学生会員が筆頭発表者であり、研究発表申込時に学生ポスター賞に応募したポスター発表が対象です。学生会員の積極的な応募を期待しています。

11. 高校生ポスター発表の募集

森林・林業への青少年の興味関心を喚起し、中等教育における学習研究を支援する目的から、第135回大会でも高校生ポスター発表を募集します。応募の締切は2023年11月2日（木）です。会員の皆様におかれましては、お知り合いの高校の先生・生徒の皆さんに応募をお勧めいただければ幸いです。

12. 保育室の設置等について

第135回大会では保育室の設置等を行います。詳細は後日大会ウェブページでお知らせします。

13. 関連研究集会について

本大会に付随して開催される関連研究集会について、大会運営委員会が3月11日の会場を用意します。会場の利用および大会プログラムへの記載を希望される場合は、日時、テーマ、会場の収容人数な

どの必要事項を記して大会運営委員会申し込んでください。詳細は後日大会ウェブページに掲載します。

締切：2023年12月8日（金）17：00

14. 大会に関する各種問い合わせ

- ・ 下記の問い合わせフォームからお問合せください。

<https://www.forestry.jp/inquiry/>